


**「美しいもの、本物に触れて輝いて！」文化施設・芸術家と学校とを繋ぐ体験プログラム**

(1)

「美しいもの、ほんものに触れて輝いて！」を合言葉に、県内の文化施設(美術館、文化ホール)・芸術家と連携し、美しい芸術作品との出会いや創造的なものづくり活動をする「文化芸術連携授業」の中で、子どもたちの思いやりの心、豊かな感性を育てることをめざしています。



(2) 対象 (○の下の数字は対象学年)

幼	小	中	高	般
	○	○	○	

(3) 支援メニュー提供者

滋賀次世代文化芸術センター

(4) 形態

出前授業

(5) 関連教科等 \* ( ) 内は関連性の強い単元

総合的な学習、図画工作/美術科、社会科、家庭科、音楽科

(6) 土曜授業

不可

(7) 支援メニュー内容

(1)「文化芸術連携授業」を支援

美術館や文化ホールなど文化施設や芸術家等と連携し、県内の小・中・高校等の授業の中で本物の文化芸術に触れる、創造する体験プログラム＝「文化芸術連携授業」を支援しています。

文化芸術連携授業では「カリキュラムに沿った授業」を基本とし、学校の先生が求める授業のねらいやニーズを把握し、子どもたちに寄り添いながら、その学校・クラスに適したプログラムを実施するため、センターのコーディネーターが、打合せ・事前準備・授業当日・振り返りまで、きめ細かくサポートをします。

(2)「美ココロ・プログラム」を支援

心や身体にさまざまな課題を抱えるなど、多様な環境下にある子どもたち(別室登校、不登校児童・生徒、特別支援学校・学級の児童・生徒、適応指導教室の児童・生徒等)に寄り添った、文化芸術体験プログラム＝「美ココロ・プログラム」を支援しています。10年以上の実践経験を積んだ講師を中心に、個別に対応の必要な子どもたちの支援もしています。

 主な連携先: 滋賀県立陶芸の森、びわ湖芸術文化財団、滋賀県立美術館、MIHO MUSEUM

 主な芸術家のジャンル: 陶芸家、音楽家(声楽家、打楽器奏者、和太鼓)、茶道家、写真家 等

(8) 支援メニュー関連ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bunakasports/bunkageizyutsu/328216.html>

(9) 費用

謝金	*要(応相談)
旅費	*要(応相談)

(10) その他

相談・受付は、1学期スタートの先着順で、年間スケジュールが埋まり次第終了となります。

**申し込み**

この支援メニューは、メニュー提供者のホームページまたは電話・FAX等により直接申し込むことができます。しが学校支援センターを通じて申し込むことも可能です。

相談はしが学校支援センターへ 電話：077-528-4654 e-mail：ma0601@pref.shiga.lg.jp